

HOPE^{plus}

[市立芦屋病院だより]



新任Drのご紹介

4月より新たな医師が着任しました。



糖尿病・内分泌内科
主任医長

まつお としひろ

松尾 俊宏

先生から一言！

兵庫医科大学病院で勤務し、2021年4月より赴任いたします。糖尿病診療が専門です。糖尿病は合併症を予防・抑制し、普通の生活をおくることが目標です。これまでの経験を活かし、皆様の力になれるよう尽力いたします。専門分野は、1型糖尿病、2型糖尿病、妊娠糖尿病など糖尿病全般です。



消化器内科
医長

かんの ともよ

貫野 知代

先生から一言！

これまで消化器内科医として、消化管がんの内視鏡診断と治療を中心に日々の診療に務めてまいりました。がんの早期発見・早期治療のためには、内視鏡によるスクリーニング検査が重要です。女性内視鏡医として、苦痛の少ない検査、相談しやすい雰囲気作りを心がけております。今後とも宜しくお願い申し上げます。



緩和ケア内科
医員

いもと ゆうこ

井元 裕子

先生から一言！

昨年半年間緩和ケア内科で研修させていただきました井元と申します。

臨床研修後、4年間消化器内科として診療しておりました。4月からは緩和ケア内科を中心に市民の皆様のお役に立つよう励みたいと思います。

どうぞ宜しくお願い致します。



臨床研修医

みやもと さとし

宮本 聡志

先生から一言！

後期
研修医

糖尿病内科で勤務させて頂くことになりました。内科専攻医として皆様のお役に立てるように頑張りますので宜しくお願いします。

人間ドック・各種健診のご案内

人間ドックセンター長 わた なべ かず こ
渡部 和子

健康維持のために、早期発見、早期治療、そして疾病予防が何より大切です。人間ドック・健診をうけてみませんか？

人間ドック

月から金 1日6名 8時半受付 2週間までに要予約

人間ドック検査項目

定期的に受診いただくことで、早期発見、早期治療につながる検査です。

基本コースには、低線量胸部CT検査、鼻腔か口腔が選べる胃カメラ、上腹部超音波検査、さらに、男性には前立腺がん腫瘍マーカーPSAと泌尿器科医による診察、女性には2Dか3Dを選べるマンモグラフィー、子宮頸がん検診、婦人科超音波検査(女性医師、女性技師担当)が組み込まれています。

オプション検査

1度はチェックしておきたい検査は、オプションにて選択いただけます。

[脳ドック・ピロリ菌検査・胃がんハイリスク検査・骨塩定量検査・頸動脈エコー・体液量測定・腫瘍マーカー]

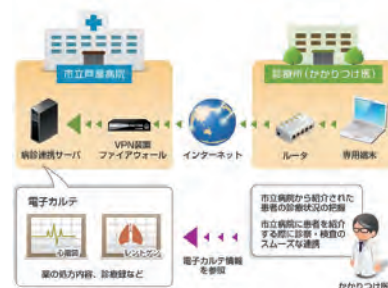
万全のアフターフォロー

主な検査結果については、当日に検査が終わられた方よりご説明しております。

人間ドック検査結果は、リアルタイムに他科と共有、専門医にコンサルトができるので、迅速かつ的確な対応が可能となっております。また患者さんの同意のもと、h-Anshin むこねっと、芦っこメディカルリンクにより、登録医療機関の先生方とも検査結果の共有が可能です。必要に応じ、管理栄養士による栄養指導や地域連携室を通じて、他医療機関への紹介、脳疾患予防外来、高齢者リハビリ予約、介護保険申請等のご案内なども行っています。



市立芦屋病院 病診連携システム「芦っこメディカルリンク」



健 診

月から金 8時半受付 1週間までに要予約

協会けんぽ生活習慣病予防健診・特定健康診査・後期高齢者医療健康診査・医師国民健康保健組合健康検診・雇用時健診等も受け付けています。お問い合わせ下さい。

ドック・健診のお申し込み、お問い合わせは

TEL.(0797)31-2156

医事課検診担当(平日午後2時~4時半)



受診者の方は

- 駐車場無料
- 病院ネットワークバス(無料)もご利用下さい
南芦屋浜病院 7:55 → 福祉センター 8:05 → セントマリアクリニック 8:15 → 芦屋病院到着 8:25



芦屋市にお住まいの方には人間ドック検査料助成 25,000円

対象

- 35歳以上芦屋市国保加入者
→ 市役所保険課管理係

TEL.(0797)38-2035

- 後期高齢者医療制度加入者
→ 市役所保険課後期高齢者医療係

TEL.(0797)38-2037

市外の方には、ふるさと寄附金の記念品として費用一部助成等が選べいただけます。



乳がん検診を受けましょう！

乳腺外科 みず くに 水谷 しん 伸

乳がんは、女性の癌の中で罹患率第1位であり、近年爆発的に増加している疾患です。しかし、早期に発見をして正しい治療を受ければ、大切な乳房を失うことなく完治する疾患でもあります。すべての女性は、30歳を越えたら乳がん検診が必要で、専門医療機関での乳房撮影（マンモグラフィー）検査や、超音波検査を年1回行うことをお勧めします。

市立芦屋病院では乳腺外科を標榜しており、乳腺の診察はいつでも可能ですが、特に乳腺専門外来を火曜日、水曜日、木曜日に開設しており、予約センターでの電話予約も可能です。特に当院では、他院に先駆けて最新型の3次元精密マンモグラフィーを導入しており、乳がん検診の精度向上を実現しています。これにより、触診でもわからないほどの微小乳がんを発見することも可能です。乳腺に症状のある方はもちろん、検診希望の方も専門のスタッフによる乳房撮影（マンモグラフィー）や超音波検査を受け、専門医による診断と結果説明が1日で可能ですので、お気軽に受診してください。



「かかりつけ医」を持ちましょう！



地域連携室前

市立芦屋病院 地域連携室前には「かかりつけ医ご紹介カード」を設置して芦屋市内、近郊の診療所や医院をご案内しています。

「かかりつけ医」をもつ主なメリット

些細な異常を早めに相談することで早期発見につながり、病気の予防や重症化の防止につながる。

専門的な治療が必要なとき、適切な医療機関を紹介してもらえる。

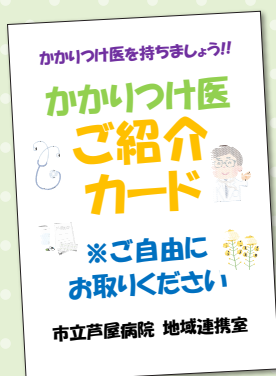
大きな病院では時間がかかる検査も「かかりつけ医」では、受診日に可能な場合もある。

新型コロナウイルスのワクチン接種も「かかりつけ医」での個別接種方式の採用が拡がりつつある。

【当院ホームページ】

<http://www.ashiya-hosp.com/index.html>

QRコードはこちらです▶



『かかりつけ医』ご紹介

あしや〇〇〇クリニック

芦屋 太郎 先生

診療科目

写真

〒658-0000 芦屋市山崎3-3-3
TEL: 0797-〇〇-3333

※本表記入の際は必ずお名前を記入してください。

診療時間

午前	9:00~12:00 (11~30)	午後	13:00~15:00 (15)
午後	4:00~6:00		

休診日

月	火	水	木	金	土	日
○	○	○	○	○	○	○

※休診日：土曜午後、日曜日、祝日

受付：市立芦屋病院 地域連携室

〒658-0002 芦屋市山崎3-3-3
TEL: 0797-21-2156 FAX: 0797-22-9922

各種行事のお知らせ

マチネーコンサート・両親学級・公開講座・糖尿病教室

※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点により、イベントの開催を中止させていただきます。今後のイベント開催の可否については当院のホームページをご覧ください。

事業管理者のつぶやき

市立芦屋病院 事業管理者 佐治 文隆

清 明

春です。若葉が萌え、蕾が開き、鳥が囀る季節の訪れです。「清明」とは万物が清らかに生き生きとするこの季節、二十四節気のひとつです。この時期の日本の夜明けの表情はとても豊かに表現されます。まず夜明け直前には「暁(あかつき)」が、そして東の空に明るさがさす「東雲(しのめ)」が、しだいに美しいグラデーションをつけて明るさが増す「曙(あけぼの)」に変わり、やがて「朝ぼらけ」を迎えて空はほのかに明るくなり、すっかり夜が明けて「朝(あした)」を迎えます。

新芽、若葉が元気を出すのもこのシーズンです。「みどり立つ」というのも新芽が勢いよく上に伸びていく様子を現し、艶のある若々しさを意味します。「みどりの黒髪」と言われる所以です。因みに幼児のことを「みどりご」というのも、これから勢いよく成長する過程の嬰兒だからこそ名付けられたのでしょう。「言葉」「言の葉」の「葉」も草木の葉に喩えたものだという説があります。「言(こと)」と「事(こと)」は同源で、前者は言葉、後者は行為を意味していて、「言」として表現すると「事」が実現すると信じられていたそうです。まさに有言実行です。草木が葉を茂らせるように、人も言の葉によって自分を表現し、夢を叶えていくのです。

花といえば桜、「お花見」は「桜の花を愛でる」ことを意味します。花が一面に咲くと夜でも「花明かり」で辺りがほの明るくなり、夜桜の美しさをさらに引き立たせる篝火が「花篝(はながかり)」です。日中でも空が少し曇れば「花曇り」、気温が下がれば「花冷え」、あいにくの「花に嵐」で桜の花びらが川面に散ると「花筏(はないかだ)」が流れ、すべてが「桜ファースト」のわが国では桜専門の樹木医もとくに「桜守」と呼ばれて大事にされます。

「春告鳥」が鶯(ウグイス)であることに異存はありません。たどたどしい鳴き声がだんだん上手になって「ホーホケキョ」と自慢げに鳴くのを聴くと思わず頬も緩みます。鶯と混同されるのがウグイス色の目白(メジロ)です。文字通り目の周りが白く、可愛い声で鳴きます。巣立ちの頃には押し合いへし合いくつつきあって枝にとまること

から、密になるのを「目白押し」と言うようになったそうです。天空の雲間から賑やかに囀りが聞こえるのは雲雀(ヒバリ)です。姿形は地味な鳥ですが、美しい声で私達を元気づけてくれます。

昨年から今年にかけて多数の人々がコロナ禍に苦しみ、辛い感染こそ免れても職を奪われ、収入を絶たれるなど、「この世は闇」と感じてきました。でもきっと夜明けはやって来ます。明るい兆しのひとつはワクチン接種です。先月からは医療従事者を対象に、今月からは高齢者を対象とする新型コロナウイルス・ワクチンの接種が始まる予定です。日本人におけるワクチンの接種効果、副反応の有無など、まだまだ判らないことも多い中で、少なくとも現時点での最善の対策と考えられます。今はコロナ禍の闇からやっと暁を迎えたところくらいでしょうか。国民の大多数が免疫を獲得して、少しでも早く朝を迎えたいものです。為政者は緻密な接種スケジュールを立て、「有言実行」に努めていただきたいものです。

コロナ禍でわが国の危機管理の問題点が炙り出されました。効率だけを追求する医療制度がパンデミックに対していかに脆いかも露呈しました。感染症の拡大は個人のみならず国家的規模で経済的大打撃を与えることは身に染みて経験したところですが、私が痛感したのは演劇、演奏会、美術展、スポーツなどが軒並み休止されたことによる精神的飢餓でした。たとえ生命が維持できても、文化・芸術が社会にとって必要不可欠であることを実感しました。ヒトはやはり「ホモ・ルーデンス」(ヨハン・ホイジンガ1938)なのです。(2021.4.1)



事業管理者のつぶやきについてはホームページにも連載しておりますのでぜひご覧下さい。

市立芦屋病院 ご案内



※ 病院ネットワークバスもご利用ください 無料

交通案内

JR 芦屋駅、
阪急芦屋川駅から

タクシー
約7分

バス
約25分
JR芦屋駅、阪急芦屋川駅のりば2番

徒歩
約30分

市立芦屋病院の理念

病院理念

あい(愛)・しあわせ(幸福)・やさしさ(優しさ)

基本理念

芦屋市の中核病院として 地域社会に貢献します
患者の意思を尊重し 最善の医療と癒しを提供します



日本医療機能評価機構 認定施設(3rdG:Ver1.0 一般病院2)

市立芦屋病院

〒659-8502 芦屋市朝日ヶ丘町39-1

TEL:0797-31-2156 FAX:0797-22-8822

ホームページ <http://www.ashiya-hosp.com>